

戦場体験者と出会えるお話し会 時間割

2023年7月15日～17日、浅草公会堂展示ホール

現在のご年齢	ご体験	7/15 土		7/16 日			7/17 月・祝		
		13:00～	14:40～	10:30～	13:00～	14:40～	10:30～	13:00～	14:40～
86歳 民間人	満州で終戦、収容所で2人の妹が亡くなる。母たちと八路軍の指揮下に入り帰国が認められなかった。1951年母が死去、1953年、弟と帰国。父は戦死していた。	○	○			○			
91歳 民間人	3歳で家族で満州へ。敗戦時、新京中学1年生の13歳、朝鮮半島・鎮南浦より引揚げ、1歳の妹が亡くなる。								○
84歳 民間人	広島で原爆被爆。建物の下敷きになるも助かるが、弟は全身火傷で死去、姉も全身火傷。は原爆孤児の施設でボランティアをしていたが6年後白血病で亡くなる。							○	
89歳 民間人	満州・大連で生まれ、そこで敗戦。ロシア人に物売りなどをして生活し、昭和23年引揚げ							○	
98歳 陸軍	入隊前に軍属として働いていた第103海軍軍需部に農場指導員として配属。フィリピン・ミンダナオ島で飢餓を体験。	○		○		○	○		
92歳 民間人	3歳の時家族でテニアンに移住、昭和19年米軍のテニアン島上陸を体験。祖母と生後2カ月の弟は衰弱死。砲弾銃弾で負傷するが、父の判断で家族は自決しなかった。							○	
97歳 陸軍	陸軍少年飛行兵に志願(14期生)。航空総軍司令部通信班助教(教育係)に選ばれて外地に行けずふてくされたが、同期71名がバシー海峡で魚雷攻撃で亡くなり、本気で教育に当たった。航空総軍司令部で山の手空襲に遭う。				○	○			
92歳 民間人	東京大空襲に被災、母と5人の姉弟妹を失う。予科練の兄も土浦の空襲で亡くなった。							○	○
89歳 民間人	吾妻橋近くで東京大空襲に被災し奇跡的に生き延びる。小坊主をしていたお寺に一人置き去られて飢え死に寸前で敗戦を迎える。一時「駅の子」として過ごす。			○					
90歳 民間人	神戸空襲で被災。防空壕に入れと叱ってくれたおじさんは、爆風で首が飛んでいた。								○
98歳 陸軍	昭和19年船舶特別甲種幹部候補生に志願 豊浜船舶工兵教育隊セブ島、香川県豊浜で103号型輸送船での訓練。								○
94歳 義勇軍	満蒙開拓青少年義勇軍。1944年満州に渡り、勃利(ぼつり)の訓練所に。	○							
96歳 民間人	パラオ高等女学校(1期生)、動員され野戦病院で看護にあたる				○				
98歳 陸軍	昭和20年現役 歩兵第290連隊、朝鮮北部のソ連国境付近に配属。コムソリスクに抑留、1948年復員。		○		○	○			
98歳 陸軍	昭和19年現役 第27師団支那駐屯歩兵第3連隊、第131師団独立歩兵第596大隊。中国中部～南部の3千キロを徒歩で行軍。敗戦後の行軍で倒れるが、中国人苦力に命を救われる	○	○						
92歳 民間人	東京大空襲を墨田区横綱で経験。疎開先で仙台空襲を経験。終戦後は進駐軍クラブでジャズピアノを弾いていた。		○						
98歳 陸軍	昭和19年現役 独立混成第1旅団独立歩兵第74大隊。中国山東省で戦闘中八路軍の捕虜となる、内モンゴルに抑留。			○					

※全17名。年齢はお話し会当日。予定は体調などで変わる可能性があります。